

当別町新庁舎建設 基本構想（案）

令和7年8月に町長へ提出された「当別町新庁舎建設に関する提言書」を受けて、10月23日に議会の新庁舎建設特別委員会、11月12日に第4回新庁舎建設検討委員会が行われ、当別町新庁舎建設基本構想（案）が示されました。

今月は、当別町新庁舎建設基本構想（案）について紹介します。

■問合せ 事業推進課事業推進係（☎ 23-3198）

現庁舎の現状

- コンクリート構造物の耐用年数が47～50年程度とされていることに対し、現庁舎は建築後55年以上が経過している。
 - 現庁舎は耐震基準を満たしていない。
 - 現庁舎の耐震診断の結果から、耐震化工事、大規模改修にも約38億円と多額の費用を要する。
 - 現庁舎の耐震工事を実施したとしても、その後の供用年数は概ね10年しか伸びない。
 - バリアフリーに未対応であり、エレベーターはなく、トイレも不十分。また、空調設備もない。
- 以上のことから、庁舎整備の方法としては、建て替えが有効な方法と判断しました。



(左) 当別町新庁舎建設に関する提言書
(右) 当別町新庁舎建設基本構想（案）
※当別町新庁舎建設基本構想（案）の内容
は町ホームページで確認できます。



町ホームページ

新庁舎の建設候補地

当別町新庁舎建設検討委員会では、「現庁舎用地」「旧当別小学校用地」「白樺公園用地」「農協用地」「旧公民館およびその周辺用地」の5か所の建設候補地について比較・検討を重ねた結果、線路に近く工事費が高くなることや都市公園として制約が多いことなどの理由から、3つの候補地を除外しました。そのうえで、町有地が存在し、周辺民有地の取得が可能となれば庁舎建設のための十分な敷地面積が確保できる「旧公民館およびその周辺用地」を第一候補地、「旧当別小学校用地」を第二候補地として設定しました。



庁舎の基本方針

諸課題や要件、時代の潮流に対応する新庁舎の建設に向けて、次の基本方針を設定しました。

01 まちづくりに寄与する庁舎

町民に親しまれ、多くの人が集い、まちの賑わいを創出する。

求められる機能・効果

まちづくりの拠点として、機能の複合化と駅周辺への都市機能の誘導。民間活力導入による中心市街地の活性化。

03 災害に強く、危機管理拠点となる庁舎

近年多発している自然災害に対し、耐震性等を有し、災害時に危機管理拠点となり町民の生活を守る。

求められる機能・効果

防災備蓄倉庫、災害対策本部機能を有する災害対策室の設置。セキュリティ対策の強化。

05 利用環境に優れた ひとにやさしい庁舎

わかりやすく、利用者にとって使いやすい庁舎であると同時に、職員にとっても働きやすい環境づくりを図る。

求められる機能・効果

駐車場・公共交通の整備、窓口体制の強化、バリアフリー化、快適な空調の整備などによる利便性の向上や効率的な施設づくり。ユニバーサルデザインの導入。

02 当別町の魅力を発信する庁舎

当別町のイメージを発信することができる庁舎を目指す。

求められる機能・効果

外観・内装ともに近隣に配慮した景観づくりに寄与。対外的な当別町の魅力発信。「暮らしたいくなる当別町」をイメージ付ける新庁舎。

04 環境に配慮し 長く有効活用できる庁舎

環境に配慮した省エネルギー化や再生可能エネルギーの活用により、維持管理コストも低減できる庁舎を目指す。

求められる機能・効果

再生可能エネルギー導入による維持管理コストの低減、施設の長寿命化等への配慮。

その他現庁舎に不足している機能の構築

- ・町民が触れ合えるスペースの設置
- ・快適な空調設備の設置
- ・駐車台数を現行の 115 台から 180 台へ増
- ・エレベーター、多目的トイレといったバリアフリー機能を新設
- ・文化ホールやテナントの複合化を検討
- ・防災備蓄倉庫、大型自家発電設備など災害対策機能の設置

基本構想（案）に対するご意見を伺います

パブリックコメント（意見公募）

当別町新庁舎建設基本構想の策定に向け、広く町民に周知し、意見を反映させることを目的として、パブリックコメント（意見公募）を行います。

募集期間：12月8日～令和8年1月8日

提出先：企画部事業推進課事業推進係



意見公募（パブリック
コメント）の実施につ
いて



当別町新庁舎建設基本
構想（案）へのご意見

住民説明会

当別町新庁舎建設基本構想の策定に向け、広く町民から意見を聴取するため、住民説明会を行います。

日時：① 12月16日（火）18:30～

② 12月17日（水）18:30～

場所：①ふれあい倉庫

②西当別コミュニティセンター

定員：50名（当日受付のみとし、定員になり次第、締め切ります）